

第19回地域連携手帳委員会議事録

日時 平成27年4月16日 (木) 13時30分～
会場 新津医療センター病院 大会議室

1 地域連携手帳の現状と問題点

- ・むすびあい手帳が出てきている中で各施設の状況は
歯科 手帳を出してもらう機会は少ない。
ショートスティなどからコミュニケーション欄を利用した問い合わせ有り
- 薬局 お薬手帳中心・・手帳からの情報も貴重なのだが・・・。
訪問看護 書くことにおいてはむすびあい手帳も違和感なし
コミュニケーションのページのみ持参することもあり。
- 医院 もともと提出することとしている施設もある。

- ・ポスターなどで提示を求める努力もしているが
日々の記録が重要

2 連携手帳の発展的利用

- ・退院後の栄養欄 あまり使用されず・・
水分量など書かれていると訪問看護では有効。
- ・ヘルパー事業所でも周知できれば幅広く使われる可能性がある。
- ・病院から退院後の在宅療養必要材料の書類を作成した。
手帳に綴ることにより有効ではないか・・次回に様式をご覧いただく。
- ・昨年補充した手帳在庫が現在680冊有り
不足事業所は地域包括日宝町にあるので問い合わせを。

3 新潟市医師会在宅医療IT連携の状況

- ・別添資料の説明
システム利用者アンケートの実施 ・・活用部会にて

4 第13回地域連携協議会の開催

- ・平成27年11月13日(金)
2部構成で1部では教育講演、2部は昨年に引き続き認知症についてのグループワークを実施する。

5その他

次回 6月18日(木) 13時30分
会場 新津医療センター病院 会議室にて開催

以上

第19回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

平成27年4月16日

1. 連携手帳の現状と問題点

2. 連携手帳の発展的利用

3. 新潟市医師会在宅医療IT連携の状況

4. 第13回地域連携協議会の開催

平成27年11月13日（金）

内容とテーマ

1. 骨粗鬆症とロコモーティブ・シンドローム

教育講演

2. 認知症

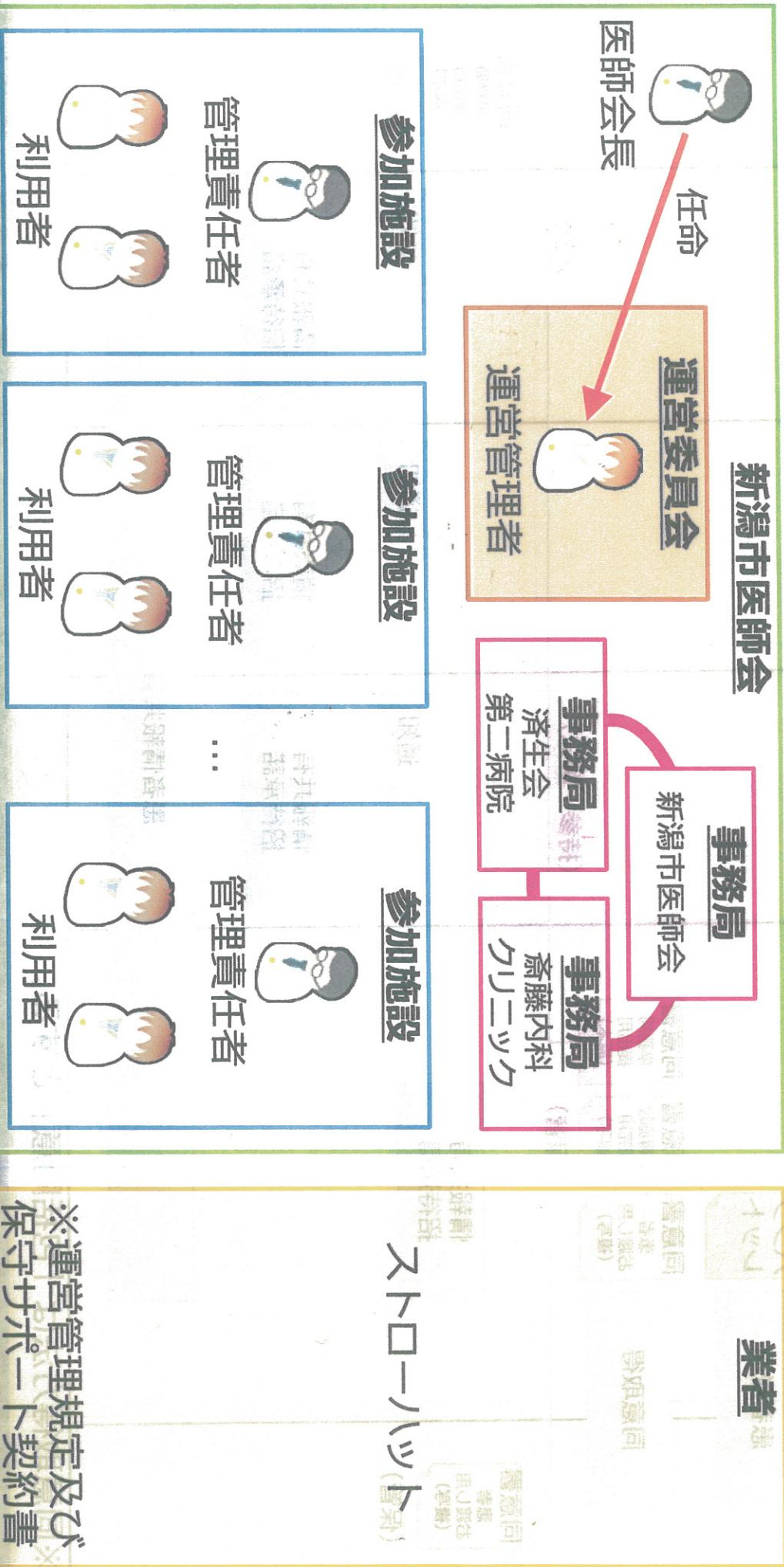
グループワーク；認知症の事例検討

5. その他

次回手帳委員会；平成27年6月18日（木）午後1時30分から
新津医療センター病院大会議室

運営管理体制のイメージ

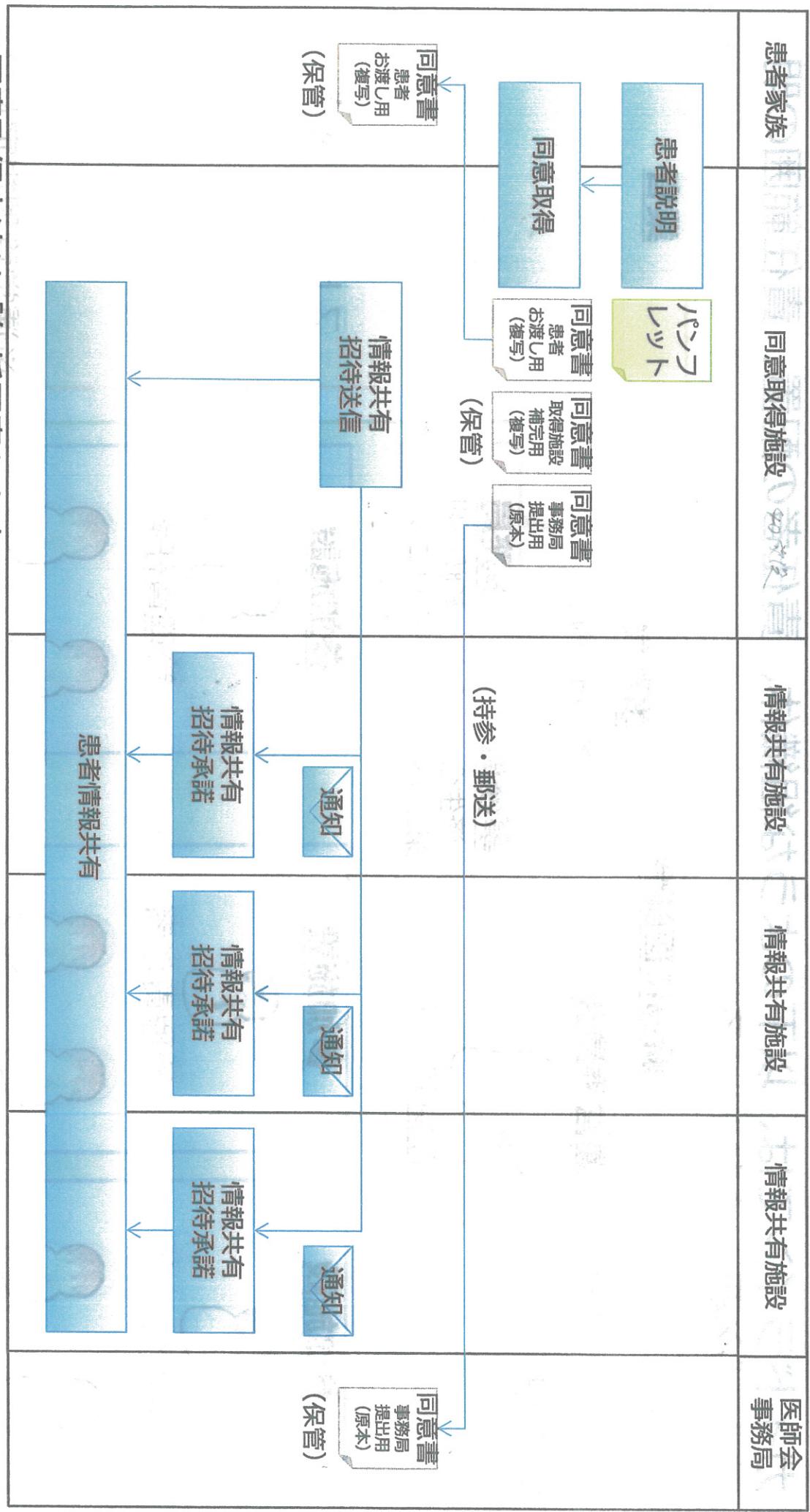
ガイドラインでは、以下のような組織体、責任者の配置、責任範囲の明確化が必要とされている。



※運営管理規定にて責務を明確化

※運営管理規定及び
保守サポート契約書
にて責務を明確化

情報共有開始手順



※同意取得方法は「包括同意」とする。

【凡例】 ■緑:導入完了 ■青:4月以降導入 ■黄:導入方針検討 ■桃:VPN接続不可

2015年4月8日現在

No.	施設名	地域	住所	電話番号	ステータス	備考
1	済生会新潟第二病院 地域医療連携室	西区	新潟市西区寺地280-7	025-233-6182(直撃・直通)	導入完了	3/17導入
2	日本歯科大学新潟病院 地域歯科医療支援室	中央区	新潟市中央区浜浦町1-8	025-267-1500	導入完了	3/17導入
3	こばりファミリークリニック	西区	新潟市西区小新大通2-1-26	025-234-5577	導入方針検討	配布されたタブレットでの利用を想定していた。タブレット配布対象とするかどうかにより、今後の導入方針を決める。
4	坂井柏診療所	西区	新潟市西区寺尾東3-8-35	025-269-6630	VPN接続不可	民医連本部SE関川氏にVPN接続の検証を依頼した。結果として、IPSec+IKEではグループ内ネットワークからの接続ができないと連絡頂いた。
5	田沢内科医院	西区	新潟市西区山崎1145	025-239-2041	導入完了	3/20導入
6	松田内科学習センター	西区	新潟市西区浜久108-2	025-371-1288	4月以降導入	4月以降の導入として調整する。
7	訪問看護ステーションけやき	西区	新潟市西区寺尾東3丁目1-19	025-211-0460	VPN接続不可	VPN接続不可 VPN+IKEではグループ内ネットワークからの接続ができないと連絡頂いた。
8	訪問看護ステーションゆうばえ	西区	新潟市西区内野上新町11810-3	025-264-5731	VPN接続不可	民医連本部SE關川氏にVPN接続の検証を依頼した。結果として、IPSec+IKEではなくグループ内ネットワークからの接続ができないと連絡頂いた。
9	信楽園訪問看護ステーション	西区	新潟市西区新通南3丁目3番11号(信楽園病院内)	025-269-8121(ステーション代表)	導入完了	4月以降導入
10	済生会新潟訪問看護ステーション	西区	新潟市西区寺地280-7	025-234-5111	導入完了	3/17導入
11	五十嵐医院	西蒲区	新潟市西蒲区小吉1074-1	025-375-5670	導入完了	3/16導入
12	大西神経内科医院	西蒲区	新潟市西蒲区泰申1784-1	0256-70-0024	導入完了	3/16導入
13	金子医院	西蒲区	新潟市西蒲区和納10-17	0256-82-3012	導入完了	3/20導入
14	酒更クリニック	西蒲区	新潟市西蒲区三方13-1	025-80-1118	4月以降導入	4月以降の導入として調整する。
15	KOYANAGI真柄CLINIC	南区	新潟市南区篠ノ木新田5724-1	025-377-2011	導入完了	3/16導入
16	田辺医院	南区	新潟県新潟市南区白根3052	025-372-2076	VPN接続不可	VPN接続不可 VPN接続ができない。組織内ネットワークの環境問題と思われる。担当SEと対策を検討する必要がある。
17	広川医院	南区	新潟市南区西笠巻66-2	025-373-3221	導入完了	3/24導入
18	吉沢医院	南区	新潟市南区庄越1111	025-373-0846	導入完了	3/18導入
19	源邊医院	南区	新潟市南区能登2-8-5	025-372-2568	導入完了	3/19導入
20	西蒲中央病院	西蒲区	新潟市西蒲区旗屋731	0256-88-5521	VPN接続不可	地域連携相談室のPCはOKだったが、江部理事長のPCが接続不可。VPNクライアントインストール後、VPN接続ができない。組織内ネットワークの環境問題と思われる。担当SEと対策を検討する必要がある。
21	新藤内科クリニック	中央区	新潟市中央区高志2-20-3	025-282-5800	導入完了	3/26導入
22	スマイル歯科おざき	東区	新潟市東区新潟市江南皮脂業1丁目4-3	025-278-9311	導入完了	3/26導入
23	ゆきよし訪問看護ステーション	江南区	新潟市江南皮脂業1丁目4-3	025-384-0206	4月以降導入	組織的なコンセンサスが取れていない状態だが、担当ミムラ様の方で使っている。4月以降の導入として調整する。
24	訪問看護ステーションるひなす	中央区	新潟市中央区高志2-19-30 高志タウンハウス	025-378-6663	導入完了	3/17導入
25	居宅介護支援事業所るひなす	中央区	新潟市中央区高志2-19-30 高志タウンハウス	025-378-6662	導入完了	3/17導入
26	ケアステーションるひなす	中央区	新潟市中央区高志2丁目20-10	025-257-7141	導入完了	3/19導入
27	さつき調剤薬局	中央区	新潟市中央区高志2丁目20-2	025-287-5571	VPN接続不可	VPN接続不可 VPNクライアントインストール後、VPN接続ができない。組織内ネットワークの環境問題と思われる。担当SEと協議の結果、ルーターがPPPoEのパスクルーターに対応していないことが原因と思われる。タブレットの導入、スルーに対応していないことが原因と思われる。タブレットの導入、スルーへの購入等の対応を検討する必要がある。
28	アレック北栄新潟	中央区	新潟市中央区愛宕2丁目10-2	025-295-8866	導入完了	3/18導入
29	回部腎臓内科医院	東区	新潟市東区長若町6-3	025-273-3535	導入完了	3/23導入
30	すずらん訪問看護ステーション	東区	新潟市東区河渡甲40 桑名病院内	025-279-5100	導入完了	3/26導入
31	ケフランセンター河渡の郷	東区	新潟市東区河渡2丁目4番65号	025-270-1491	導入完了	3/17導入
32	デイサービスセンター鹿児島	東区	新潟市東区藤見町1-4-38	025-279-3335	導入完了	3/18導入
33	在宅介護支援センターあじま荘	東区	新潟市東区上木戸5-1-11	025-275-6548	導入完了	3/16導入
34	訪問看護ステーションあしまま	東区	新潟市東区はなみずき2丁目6-16	025-270-6767	導入完了	3/25導入
35	在宅ケアクリニック川岸町	中央区	新潟市中央区川岸町2-11-14 全快堂薬局 2F	025-232-8880	導入方針検討	電子カルテベンダーのセコムから、IPSec+VPN+IKEでの接続はNGとの見解を頂いている。タブレットの導入による対応が必要と思われる。
36	新潟南訪問看護ステーション	中央区	新潟市中央区女池神明1丁目6番地14	025-284-7511	VPN接続不可	VPNクライアントソフトのインストーラーが途中で止まる。院内ネットワークの環境問題と思われる。担当SEと対策を検討する必要がある。
37	バイタルケア新潟ホームヘルプサービス	中央区	新潟市中央区川岸町2-8-2	025-230-3003	VPN接続不可	VPN接続ができない。組織内ネットワークの環境問題と思われる。担当SEと対策を検討する必要がある。
38	松田内科呼吸器科クリニック	北区	新潟市北区農見町3925-4	025-257-4100	導入完了	3/18導入
39	上木戸こ病院	中央区	新潟市北区長芦呂427-2	025-388-3600	導入方針検討	いろいろ訪問看護ステーションから転移。組織的なコンセンサスが取れていない状態。窓口は松田内科呼吸器科クリニックの松田先生のこと。
40	尾山訪問看護ステーション	北蒲原1	北蒲原郡聖籠町蓮潟2251-8 聖籠クリニック	0254-27-6232	導入方針検討	帝橋先生に話を通して頂けるよう連絡済。

システム利用者向けアンケート設問項目(案)

株式会社ストローハット

- 以下の設問は平成24年度厚生労働省科研「在宅医療介護連携を進めるための情報共有とICT活用」と合わせておこなうことができる。
- 効果に関する設問については、事前アンケートにおいては「期待する効果」、事後アンケートにおいては「実感できた効果」として回答頂くことにより、効果測定が可能となる。
- 以下の設問以外にもいくつかのフリー記載の設問を用意する。
- これらの設問をベースに地域ごとに評価項目の追加等の意見収集等を行い、評価項目を確定していく。

設問項目	回答選択肢
回答者の職種	医師 歯科医師 看護師 保健師 薬剤師 社会福祉士、精神保健福祉士 介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネージャ) 理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST) 管理栄養士、栄養士 事務職 その他
所属している施設の種類	病院 診療所 歯科診療所 訪問看護ステーション 保険薬局 地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 その他
現在の情報共有手段	文書 電話 FAX メール 直接会う ITシステム その他
在宅医療介護で共有が必要な情報	医療職が把握している患者の健康状態 介護職が把握している利用者の生活状態 現病歴、既往歴 アレルギー・感染症情報 治療状況(診療録) 治療状況(サマリー) 服薬情報(薬剤名) 服薬情報(量、用法) 服薬情報(副作用) 服薬情報(飲み忘れ) 検査結果 バイタル 処置(内容) 食事摂取量 排泄状況 睡眠状況 移動状況(移動上の禁忌も含む) 心理状況 社会的な活動状況 経済状況 ADL(要介護度含む) 認知レベル 生活歴 住宅環境(物理的、経済的) 本人の価値観、人生観 本人のケアに対する希望 家族のケアに対する希望 本人の緊急時の救命措置に対する希望 家族の緊急時の救命措置に対する希望 家族の介護力
在宅医療介護の連携における課題	医療や介護の担い手、連携先に関する情報が不足している 医師とのコミュニケーションが取りにくい 医師がサービス担当者会議に参加してくれない ケアマネージャによる多職種連携のコーディネートが不足している ケアマネージャの医療に関する知識が不足している 病院が患者の退院時に十分な情報をケアマネージャに提供できていない 患者の病状や行先の見通しに関する情報が多職種で共有できていない 患者や家族の考え方や希望が共有できていない その他

設問項目	回答選択肢
ITを用いた情報共有システムの必要性	非常にそう思う そう思う あまりそう思わない 必要ない
ITを用いた情報連携の効果として期待するもの	患者の様態変化の早期把握、早期対応 患者状態の多面的な把握、患者に対する理解の深まり 患者や家族の満足、安心感の向上 紹介先探しの効率化 患者情報の伝達に関する業務の効率化・省力化 施設間・職種間の相互理解や関係性の向上 連携先の開拓・拡大 その他
ITシステムの導入に関する課題	初期導入費用 運用費用 ITに関する知識不足 個人情報保護への不安 事務作業量の増加 職種間の守秘義務や意識の違い ITの有用性・必要性に関する意識の違い システムのサポート体制 地域内の連携・ヒューマンネットワーク 停電や災害など非常時への対応 システム環境(施設内のポリシー) システム環境(在宅等における速度や繋がりやすさ) その他
ITシステムの利用場所	施設内 患者宅 移動中の自動車内等 利用者の自宅等
ITシステムの利用端末	施設内のパソコン 可搬型のノートパソコン タブレット スマートフォン

設問項目	回答選択肢
ITを用いた情報共有システムの必要性	非常にそう思う そう思う あまりそう思わない 必要ない
ITを用いた情報連携の効果として期待するもの	患者の様態変化の早期把握、早期対応 患者状態の多面的な把握、患者に対する理解の深まり 患者や家族の満足、安心感の向上 紹介先探しの効率化 患者情報の伝達に関する業務の効率化・省力化 施設間・職種間の相互理解や関係性の向上 連携先の開拓・拡大 その他
ITシステムの導入に関する課題	初期導入費用 運用費用 ITに関する知識不足 個人情報保護への不安 事務作業量の増加 職種間の守秘義務や意識の違い ITの有用性・必要性に関する意識の違い システムのサポート体制 地域内の連携・ヒューマンネットワーク 停電や災害など非常時への対応 システム環境(施設内のポリシー) システム環境(在宅等における速度や繋がりやすさ) その他
ITシステムの利用場所	施設内 患者宅 移動中の自動車内等 利用者の自宅等
ITシステムの利用端末	施設内のパソコン 可搬型のノートパソコン タブレット スマートフォン

秋葉区地域福祉計画 地域福祉活動計画

(2015~2020)

概要版



新潟市秋葉区
新潟市秋葉区社会福祉協議会

概要

秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画とは

区民一人ひとりが安心して心豊かにいきいきと暮らし続けることができる地域づくりを目指して、地域住民や社会福祉協議会を含む地域の各種団体、事業者、行政などが連携・協働して、人とひとのつながりを大切にし、支えあいの関係を築きながら、**自助・共助・公助**を重層的に組み合わせた「地域ぐるみの福祉」を推進するための計画です。

■秋葉区の基本理念

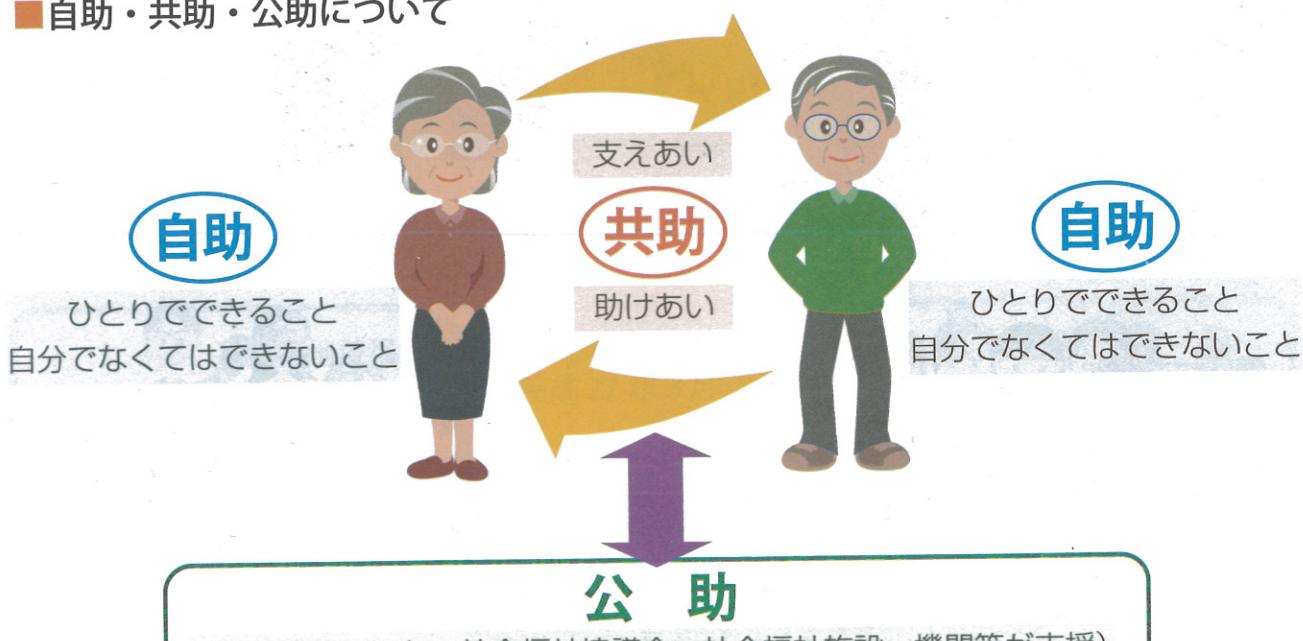
人がつながり ともに支えあう やさしいまち

区民一人ひとりが主体的に地域の生活課題に取り組む中で、多くの出会いと気づきを重ねながら住民同士のつながりを深めることを基本とし、お互いを思いやる心、地域でともに助けあい支えあう心、自然にも人もやさしい心を育み、誰もが笑顔ではつらつと暮らせる地域福祉の展開を目指して定めました。

■計画期間

平成27年度～平成32年度までの6年間で、必要に応じて見直しを行います。

■自助・共助・公助について



*社会福祉協議会は公助の視点から自助・共助を支援する立場

〈新国際カレッジ 坪井真 研修会資料を参考〉

基本理念

基本目標

基本方針

人がつながりともに支えあうやさしいまち



1 明るく元気な地域づくり

- (1) 隣近所との交流
- (2) 人が集い交流しあう拠点づくり
- (3) 人を支える組織の支援
- (4) 人材の育成とコーディネート機能の充実

2 安全で安心な地域づくり

- (1) 安心して暮らせる支えあいの環境づくり
- (2) 安全で快適な生活環境づくり

3 健康で豊かな地域づくり

- (1) 地域における健康づくりの推進
- (2) すべての人が互いに尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及

4 体制づくり 相談しやすい

- (1) 地域福祉のネットワークの構築
- (2) 適切な情報提供体制づくり

基本目標

基本理念に沿って4つの基本目標があります

1 ●明るく元気な地域づくり

(1) 隣近所との交流

災害などあらゆる状況を考えて、地域住民同士の関係づくりを大切にしましょう。「困った時にはお互い様」の関係を築けるようにしましょう。



(2) 人が集い交流しあう拠点づくり

秋葉区は、盆踊りや運動会、「さいの神」などの行事が盛んですが、こうした地域行事を大切にしつつ、サロンなど住民同士が交流しあえる拠点づくりを進めていきましょう。

(3) 人を支える組織の支援

地域で明るく元気に暮らしていくために、自治会・町内会やコミュニティ協議会、民間団体や自主グループなどの組織が力をつけ、一層あたたかな地域を目指していきましょう。

(4) 人材の育成とコーディネート機能の充実

地域のさまざまな課題には、多くの機関が力をあわせて対応する必要があります。そのため、人材育成とその機能を最大限に活かせるコーディネート機能を充実させることが大切です。

2 ●安全で安心な地域づくり

(1) 安心して暮らせる支えあいの環境づくり

核家族化が進み、近隣との交流も薄れていますことから、地域で困ったことが起きたとき、相談したり声をかけあったりする関係が築きにくくなっています。



公的機関の相談・支援の充実とともに、あたたかい見守りや声をかけあえる地域づくりを考えていきましょう。

(2) 安全で快適な生活環境づくり

秋葉区特有の災害として豪雨や土砂災害などの自然災害がありますが、最近は子どもをねらった犯罪やストーカー犯罪、高齢者をねらった詐欺なども発生しており、防犯にも取り組む必要があります。

安全で安心して暮らせる地域にするために、公的機関の活動とともに、地域でできる取り組みを考えていきましょう。

3 健康で豊かな地域づくり

(1) 地域における健康づくりの推進

自分や家族の健康に关心がある一方で、健診などの受診率が低いという現状があります。

「日常生活において健康を守る」「自分の健康は自分で守る」という意識を育てるとともに、地域ぐるみで取り組める仕組みを考えていく必要があります。

健康寿命の延伸に向けて、住民と一緒にやって取り組んでいきます。



(2) すべての人があたたかく尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及

地域にはさまざまな支援を必要とする人が暮らしています。

地域住民が、「障がい」についての正しい知識や理解をもって接することや、日常のさりげない会話やふれあいなどを大切にして、お互いを尊重し合えるあたたかい地域づくりが大切です。

障がいのある人もない人も、また高齢者などを含めたすべての人が暮らしやすい地域となるようなやさしい地域づくりを進めていく必要があります。

4 相談しやすい体制づくり

(1) 地域福祉のネットワークの構築

地域住民にとって相談しやすい窓口になるよう、また、相談者の状況に応じて訪問などの対応ができるよう一層の工夫をしていきます。

また、最近は複数の専門機関が協力して対応する必要のある虐待やDV(ドメスティックバイオレンス)、引きこもりなどの相談もあり、ますます連携を深めて対応していくことが求められています。

そして相談者や当事者の人権を尊重した対応を心がけることが大切です。また、平均寿命が延びるなか、いかに健康で長生きするかが重要になっています。従来からのサービスの充実とともに、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいきます。



(2) 適切な情報提供体制づくり

日常生活を便利により良く暮らすために、高齢者や、視覚・聴覚などの障がいのある人を含めてすべての住民がわかりやすく情報を得ることができるよう、工夫していく必要があります。

また、区役所をはじめとしてあらゆる地域活動をしている機関は積極的にPRをして、地域住民の生活に活かす取り組みをしていきましょう。

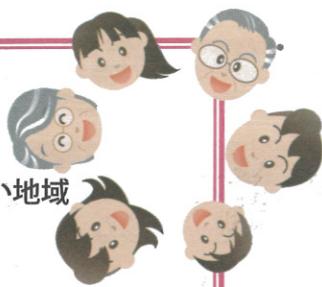
そして回覧板など昔ながらの情報伝達の手段も大切にしていきましょう。

地域が目指すもの

新津中央地区

- きずな情報の共有
- 声かけて 思いつながる 明るい地域
- 見守りの取り組みをすすめよう
- めざせ 衆賛商店街*
- 頼りにします 若者よ
- 高齢者と子ども みんな一緒に笑顔
- 隣組でつながろう～隣組から大きな輪に～
- 若い人とつながろう
- 若い人や子どもも行事に出てくる地域づくり
- さあ 新津を踊ろう

*多くの人が集まりにぎわいのある商店街を意味する造語



山の手地区

- 災害時あたりまえマニュアル
- 「助けてもらいたい名簿」をつくろう
- GO GO 山の手!
- 若い世代を融合した地域づくり
- 次代の絆～引き継ぐ組織～
- 里山王国をつくろう



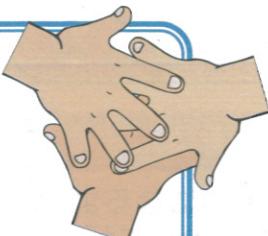
新津西部地区

- 黄色いハンカチ運動
- 趣味・特技を生かした仲間づくり
- 安・安・快! そして、努力!
- 広報の手段を工夫しよう
- 空き家問題を地域で話し合う場を設けよう



荻川地区

- 若者交流大作戦
- 女性活躍大臣
- 身近な行事でつながりを持とう
- 「ご近助」の力～ゆるやかな人間関係をつくる～
- 荻川総ボランティア（子ども編）
- 荻川総ボランティア（大人編）
- リーダー的素質のある人を育成
- あなたも野菜作りに挑戦しませんか?
- 地域の生き残り①絆の強化（自治会・町内会）
- 地域の生き残り②絆の強化（荻川全域）



満日地区

- キットの呼びかけをしつつ、周知する。
- キット役立つ緊急キット
- あいさつ運動～顔の見える関係づくり～
- 秋の「うんめえ」満日の日



新津東部地区

- 向こう三軒両隣（隣組単位で会合）
- 聞かせて 教えて あなたの本音
- 見守りの仕組みづくり
- 子どもも大人もつながりをもとう
～そんな地域づくりを～
- 未来へのバトンタッチ～みんなで知恵を出そう～
- 思い切って世代交代を図ってみよう
- あなたの身近に福祉委員がいます
- みんなひとりじゃないよ 手をつなごう
- 絆を深めて守ろう 地域の宝





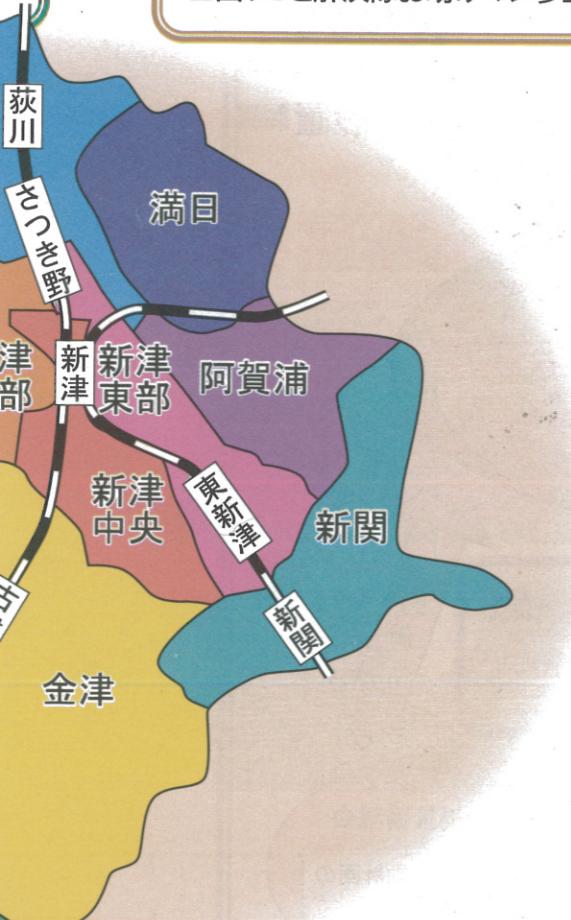
小須戸地区

- みんなで創ろう 地域の安心
 - 新あつたかネットワーク
 - 65歳からの地域デビュー
 - 団塊世代の地域デビュー
 - 男性が元気になると地域が元気になる
 - 困りごと解決隊お助けマン参上～生きがい みーつけた～

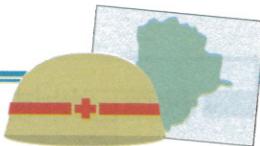


コミュニティ協議会の地区ごとに開催した「福祉懇談会（ワークショップ）」で作成した活動提案書のタイトルを掲載しています。

詳細については、別冊「地域活動をすすめる78の提案」をご覧ください。



新関地区



- 定期的な訪問活動を行う
 - 移動式お茶の間
 - 週1回、回覧板を手渡し安否確認
 - 幸せの黄色いリボンを新関地区全体に掲げよう
 - 防災のイメージを伝えるポスターを作ろう
 - 人材の掘り起し
 - 小さな輪のつながりが大きな輪へ
 - わらの力で人を育てる
 - 郷土愛の育成

金津地区



- なんでも相談会
 - 町内お助け隊
 - チーム金津 ふれあい大作戦
 - 金津地区よろず相談ポスト
 - 見守り体制をつくろう

阿賀浦地区



- 若い力を育てよう
 - 行事の開催方法を工夫しよう
 - たよれる地域づくり
 - 地域の子どもの見守り活動に取り組んでいこう
 - 阿賀小グリーン作戦
 - 絆・つながり
 - つながりの太い輪をつくろう～つながりは継続なり～
 - 安心なまちづくり

小合地区



- サロン応援団
 - さあ みんな サロンへ行こう
 - 小合がひとつになる
 - サロンの参加者を広げよう
 - 「花のふるさと小合」花壇コンテスト
 - 花いっぱい! 花見で一杯!

計画の推進

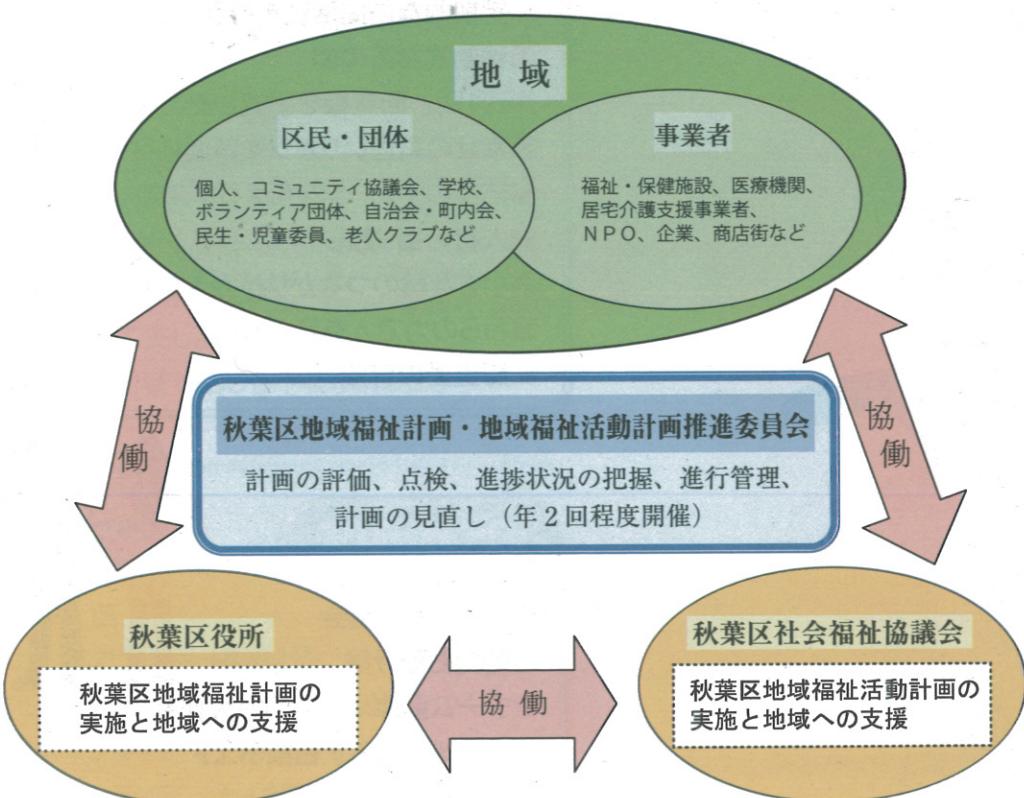
この計画の推進にあたって、コミュニティ協議会や各種団体の代表、学識経験者等で構成される「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画の評価と進行管理を行います。

また、基本目標の実現を目指し、次の視点を踏まえて取り組み、計画を推進していきます。

- 地域福祉活動への住民の主体的参加の促進
- 多様な担い手の相互連携と協働
- 社会資源の有効活用による地域福祉活動の展開
- 計画の点検、評価、見直し



秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の設置



秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画（2015～2020）概要版 平成27年3月発行



●編集・発行● 新潟市秋葉区役所健康福祉課

〒956-8601 新潟市秋葉区程島2009

電話 0250-25-5665（直通） FAX 0250-22-8250

E-mail kenko.a@city.niigata.lg.jp

新潟市秋葉区社会福祉協議会

〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町1丁目2-39

（新津地域交流センター2階）

電話 0250-24-8376 FAX 0250-23-3322

E-mail info@akihaku-syakyo.jp



花と線に囲まれた
笑顔咲きそろう
にぎわいのあるまち
秋葉区

秋葉区社協マスコットキャラクター
「きらりん」